

たしかめ

18

名前

87

8 7

しょうをえてとくいになっ  
ている僕のあに。

88

8 8

みぎ・ひだり、おもさをくらべてひ較かくする。

89

8 9

こくせいせんきよでとうせんしたこっかいぎいん。

90

9 0
-----

わたしは お菓しくりに きょうみがある。

91

9 1

けんがくのじゅんろをしめすひょうじばん。

91	90	89	88	87
示	興	政	比	得
見学の順路を示す標示板。	私 <sup>わたし</sup> はお菓子 <sup>かし</sup> 作りに興味がある。	国政選挙で当選した国会議員。	右・左、重さを比べて比較 <sup>かく</sup> する。	賞を得て得意になっている僕 <sup>ぼく</sup> の兄。

92

9 2

緊きんちようでこころがはり詰つめていた。

93

9 3

ホテルのこしつに泊とまる。

94

9 4

吹ふきとばぬようにしちゆうをささえる。

95

9 5

めいろにまよい込こんででられない。

96

9 6

ざいことは、そうこにあるしなもののりよう。

96	95	94	93	92
在	迷	支	個	張
在庫とは、倉庫に在る品物の量。	迷路に迷い込んで出られない。	吹き飛ばぬように支柱を支える。	ホテルの個室に泊まる。	緊張で心が張り詰めていた。

101

お|か|ね|を|よ|せ|あ|つ|め|が|っ|こ|う|に|ピ|ア|ノ|を|き|ぞう贈|。

101


100

が|っ|き|ゆう|かい|の|ぎ|だい|を|て|い|あ|ん|する|。

100


99

ぼ|う|災|さいに|か|ん|する|て|ん|け|ん|を|お|こ|な|う|。

99


98

さ|く|らの|か|べ|ん|が|そ|ら|に|と|び|ち|っ|た|。

98


97

い|え|を|で|て|ど|く|り|つ|し、|ひ|と|り|で|暮|くらす|。

97


たしかめ

20

名 前

101	100	99	98	97
寄	提	検	弁	独
お金 を 寄 せ 集 め 学 校 に 。 ピ ア ノ を 寄 贈 。	学 級 会 の 議 題 を 提 案 す る 。	防 災 に 関 す る 点 検 を 行 う 。	桜 の 花 弁 が 空 に 飛 び 散 つ た 。	家 を 出 て 独 立 し 、 一 人 で 暮 ら す 。

102

べんきようやしごといがいのあまったじかんがよ暇<sup>か</sup>。

103

ぶつ壇<sup>だん</sup>のほとけさまにてをあわせる。

104

かしかりすることをたいしゃくという。

105

かぎられたじかんをゆうこうにつかう。

106

じょうやくはくにとくにできめたやくそく。

108	107	106	105	104
眼	仏	余	寄	提
気温の変化に着眼して調べる。	仏壇 <sup>だん</sup> の仏様に手を合わせる。	勉強や仕事以外の余った時間が余暇 <sup>か</sup> 。	お金を寄せ集め学校にピアノを寄贈 <sup>ぞう</sup> 。	手提げかばんから宿題を取り出し提出。



107

じけんはっせい、げんばへきゅうこうせよ。

108

ほ<sup>ご</sup>護しよくは、みのあんぜんをたもつため。

109

やすくてうまいとひょうばんのラーメンてん。

110

せんそうがげんいんでぶつかがあがる。

111

このぎだい、さんせいはんたいどちらがおおい？

111	110	109	108	107
賛	価	評	保	件
この議題、賛成反対どちらが多い？	戦争が原因で物価が上がる。	安くてうまいと評判のラーメン店。	保護色は、身の安全を保つため。	事件発生、現場へ急行せよ。

112

ふう婦<sup>ふ</sup>はおつとつまのかんけい。

112

113

だんじょこんごうダブルスのしあい。

113

114

きせいきやくでこんざつするしんかんせん。

114

115

こまかいぶぶんはしょうりやくする。

115

116

やさいをとりにはたけへいくそぼ。

116

116	115	114	113	112
採	略	雑	混	妻
野菜を採りに畑へ行く祖母。	細かい部分は省略する。	帰省客で混雑する新幹線。	男女混合ダブルスの試合。	夫婦は夫と妻の関係。

121

稲<sup>いね</sup>が ゆたかに みのり ことは だいほうさくだ。

121		

120

この うたの おんていは それほど たかくない。

120		

119

すぎた かこ、アルバムを みて おもいだす。

119		

118

どりよくして ふかのうを かのうにする。

118		

117

どうろこうじの ため つうこうを きんじる。

117		

たしかめ
24
名 前

121	120	119	118	117
豊	程	過	能	禁
稲 <sup>いね</sup> が豊かに実り今年は大豊作だ。	この歌の音程はそれ程高くない。	過ぎた過去、アルバムを見て思い出す。	努力して不可能を可能にする。	道路工事のため通行を禁じる。

ちゅうもんがふえてぞうさんするしん型カタしゃ。

わかれた  
とも  
ふたたび  
であい  
さいかいを  
よろこぶ。

124 まよいぬをほごした。

1 2 3 たべもののりょうをへらしてげんりょうする。

ふ織しよくふは、いとで織おらないぬののこと。

たしかめ

25

名前

1 2 6	1 2 5	1 2 4	1 2 3	1 2 2
増	再	護	減	布
注文が増えて増産する新型車。	別れた友と再び出会い再会を喜ぶ。	迷い犬を保護した。	食べ物の量を減らして減量する。	不織布は、糸で織らない布のこと。



127

みぶんしょうめいしよをみせる。

127

128

128

しっぱいをせめずせきにはみんなでとる。

129

129

うんをてんにまかせる。

130

130

おかしからつたわるでんとうぎょうじ。

131

131

すっぱくてさんみのつよいなつみかん。

131	130	129	128	127
酸	統	任	責	証
酸つぱくて酸味の強い夏みかん。	昔から伝わる伝統行事。	運を天に任せる。	失敗を責めず責任はみんなで取る。	身分証明書を見せる。

132

きみは がかに なる そしつがある。

132

133

じょうせつの そうだん窓ぐちを もうけた。

133

134

がつこうの じゅぎょうで いちばん すきな たいいく。

134

135

きげんぜんから かんじは あった。

135

136

そふは くらうして ざいさんを のこした。

136

1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3	1 3 2
財	紀	授	設	素
祖父は苦勞して財産を残した。	紀元前から漢字はあった。	学校の授業で一番好きな体育。	常設の相談窓口 <small>まど</small> を設けた。	君は画家になる素質がある。

137

やまやまが つらなつたさんみやく。

138

ぬのを おる どうりよくしよつきを はつめいした。

139

いし垣<sup>がき</sup>を きずき あづちじようを ちくじようした のぶなが。

140

いまでも きゆうしきの きかいを つかっている。

141

こうじちゆう、こうつうき制<sup>せい</sup>が おこなわれた。

141	140	139	138	137
規	旧	築	織	脈
工事中、交通規制が行われた。	今も旧式の機械を使っている。	石垣 <sup>がき</sup> を築き安土城を築城した信長。	布を織る動力織機を発明した。	山々が連なった山脈。

142

こうつうきそくを まもり あんぜんうんてん。

142

143

ちよすいちの すいりようが へった。

143

144

かたがみをつかつて つくる 模<sup>も</sup>けいひこうき。

144

145

けつえきは からだじゅうに さんそを はこぶ。

145

146

たてものの もとを ささえる き<sup>そ</sup>礎こうじ。

146

1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3	1 4 2
基	液	型	貯	則
建物の基を支える基礎工事。	血液は体中に酸素を運ぶ。	型紙を使って作る模型飛行機。	貯水池の水量が減った。	交通規則を守り安全運転。



151

あのひとはあかるいせいかくだ。

151		

150

ひとのいのちをすくうためいそいでいくきゆうきゆうしや。

150		

149

ふじんふくうりばでようふくをかった。

149		

148

こうつうじがたはつしている。

148		

147

ていかのはんがくでバッグをかった。

147		

たしかめ

30

名 前

151	150	149	148	147
格	救	婦	故	額
あの人は明るい性格だ。	人の命を救うため急いで行く救急車。	婦人服売り場で洋服を買った。	交通事故が多発している。	定価の半額でバッグを買った。

152

せんせい<sup>が</sup> しごと<sup>を</sup> している <sup>しよくいん</sup>しつ<sup>。</sup>

153

いじゅう<sup>とは</sup> ほか<sup>の</sup> とち<sup>に</sup> うつりすむ<sup>こと</sup>。

153

154

ぼち<sup>に</sup> いき<sup>せん</sup>ぞ<sup>の</sup> はか<sup>に</sup> おまいり<sup>する</sup>。

154

155

にほん<sup>は</sup> みんしゅ<sup>しゅぎ</sup>の く<sup>に</sup>だ<sup>。</sup>

155

156

がいちゅう<sup>を</sup> ころ<sup>す</sup> さっちゅう<sup>剤</sup><sup>を</sup> は<sup>に</sup> かけ<sup>る</sup>。

156

1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3	1 5 2
殺	義	墓	移	職
害虫を殺す殺虫剤 <small>がいしゅ</small> を葉 <small>は</small> にかける。	日本は民主主義の国だ。	墓地に行き先祖の墓にお参りする。	移住とは、他の土地に移り住むこと。	先生が仕事をしている職員室。

157

まずしいひと おかねもちの ひんぷのさ。

158

げんていばんの ゲームが はつばいされた。

159

げん稿こうの きじゅつに 浴そって いけんを のべる。

160

かりの ぶんすうだから かぶんすう という。

160	159	158	157
仮	述	版	貧
仮の分数だから仮分数という。	原稿 <small>こう</small> の記述 <small>そ</small> に沿って意見を述べる。	限定版のゲームが発売された。	貧しい人とお金持ちとの貧富の差。

162

まずしいひと おかねもちの ひんぷのさ。

163

しゅっぱんした ほんが しなぎれで、さいはんされた。

164

つみを おかした はんざいしやは 刑務<sup>けいむ</sup>しよで ふくえき。

165

こうしを まねいて こうえんかいを ひらく。

166

いし・きようし、し は しよくぎようを あらわす。

たしかめ

34

166	165	164
師	講	犯
医師・教師、師は職業を表す。	講師を招いて講演会を開く。	罪を犯した犯罪者は刑務所 <sup>けい</sup> で服役。



